

## 令和2年度 第1回練馬区放課後子ども総合プラン運営委員会 会議要録

1 日時 令和2年7月30日（木）午後6時30分～午後7時50分

2 場所 東庁舎7階 702会議室

3 出席者 別紙のとおり

4 議事および意見・質疑ならびに回答要旨

(1) 委員自己紹介

(2) 事務局自己紹介

(3) 座長・副座長の選出

座長、副座長ともに、複数の立候補・推薦があり、練馬区放課後子ども総合プラン運営委員会設置要綱の規定に基づき、委員の互選で決定した。

(4) 新型コロナウイルス発生による学童クラブの利用状況等について

□ 意見・質疑要旨

ア 学童クラブ夏季緊急受入の保育料はかかるのか。

イ 新型コロナウイルスに関するガイドラインは作成されているのか。

ウ 感染症予防対策として学童クラブではどのような対応をしているのか？保育上の工夫だけではなく、環境整備も配慮してほしい。

エ 学童クラブの新型コロナウイルス感染拡大防止の対応について、もっと積極的に保護者に周知してほしい。

□ 回答要旨

ア 区立学童クラブ保育料と同額。8月1か月分の保育料が必要になる。

イ 完成し、職員向けには配布した。近日中にHPにアップする予定。

ウ 検温、こまめな手洗い・うがいの励行、定期的な消毒・換気、3密を避けるための遊び方やおやつの食べ方、帰りの会などの時の伝達方法の工夫、などを行っている。環境整備も、可能な範囲で対応していきたい。

エ ガイドラインをHPにアップするほか、保護者会などの機会をとらえて周知に努める。

(5) 今年度の取組状況について

□ 意見・質疑要旨

ア 待機児童数が増えている。ねりっこクラブを進めることとは別に少人数制の学童クラブを設置してほしい。

□ 回答要旨

- ア 待機児童対策としては、ねりっこクラブ実施のスピードアップが区の方針。  
さらに、ねりっこクラブを実施しても待機となる児童を対象に、令和3年度から「ねりっこプラス」を始める。

(6)ねりっこプラスについて

□ 意見・質疑要旨

- ア 学童クラブの待機児童のみが対象か。ひろば登録児童も利用できるのか。  
イ おやつを、ありにできるのか。  
ウ ねりっこクラブだけでなく、児童館内学童クラブや直営学童クラブでも、プラスを実施しないのか。

□ 回答要旨

- ア 学童クラブの待機児童のみ。ねりっこ学童クラブに待機児童がいないねりっこクラブでは、ねりっこプラスは開設されない。  
イ おやつ提供はなし。  
ひろばの時間帯に提供すれば、おやつを食べる子と食べない子が混在すること、ひろば終了後の時間帯に提供すれば、夕食に影響することを考慮した。また、学校におやつを持参することに伴う生活指導の問題や、一旦帰宅しておやつを済ませてからひろば室に来られること等から、おやつはなしと判断した。  
ウ 区としては、ねりっこクラブ全校実施のスピードアップを第一に考えている。ねりっこプラスは、学童クラブとひろば事業を一体的に運営しているねりっこクラブのメリットを生かして実施する事業。現時点ではねりっこクラブのみの予定。

5 その他の意見

- 学校は地域性によって対応が変わるところもあるが、都のガイドラインに沿って対応している。各学校が独自に、ゴミ袋を持参させ、鼻をかんだティッシュは持ち帰り他の児童に触れさせない、給食も全員黒板の方向を向いて黙って食べるなどの取組を行っている。
- コロナ禍において、児童館全体の定員を半分にしようとする動きがある中で、児童館には館内学童クラブ、ランドセル来館、一般来館の児童が来るので厳しい面がある。ねりっこクラブ実施校だけではなく、児童館内学童クラブを始め、ねりっこクラブ以外の学童クラブの待機児童のことももっと考えてほしい。
- 現場が大変な中、工夫された運営に感謝している。子どもが委縮しないで生活できればいいので、現場の職員もぎすぎすした気持ちにならないでもらいたい。

- ・子どもが第一。伸び伸びと、安心して生活できる環境を整えるのが大人の役目。
- ・区のコーディネーターを充実させ、民間事業者が保護者や子どもの気持ちに寄り添える力をつけて、良いものにしていきたい。
- ・特に問題なく順調にねりっこクラブをやっている。今年は、夏休み中にひろば事業があるのか、保護者からの関心は高かった。夏休み中の昼食時間は、コーディネーターのアドバイスでお話のCDを流し、子ども同士のおしゃべりをしなくしても、なるべく楽しく気分転換になるような工夫をする予定。

## 6 連絡事項

次回開催は令和2年12月中旬頃の予定。